



2020年9月

- [Cisco Spaces の概要](#) (1 ページ)
- [新機能 : 2020年9月](#) (3 ページ)
- [機能強化 : 2020年9月](#) (4 ページ)
- [Cisco Spaces ランタイム](#) (5 ページ)
- [不具合](#) (5 ページ)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存のワイヤレスやIoT (BLE) インフラストラクチャを活用して、実用的な情報を提供し、Space に組み込まれたアプリケーションでビジネスの成果を推進する強力なロケーション サービス プラットフォームです。

Cisco Spaces からの情報には次が含まれます。

- **Location Analytics** は、時間や位置によるロケーションデータの多角的な分析を行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now** レポートは、物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数 (Wi-Fi に接続されているデバイスで識別) 、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供します。Right Now レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者としてカウントできます。
- **Business Insights** は、人々がお客様の物理拠点に訪れる頻度と、お客様の事業所に滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。
- **Impact Analysis** は、現地イベント、キャンペーン、およびレイアウトの変更が行動に及ぼす影響を測定する機能を提供します。ツールを使用してイベントを作成し、費やした時間と頻度への影響の前、後、および最中などの特定のタイムラインに基づいて、このイベントの影響を測定するのは簡単です。

Cisco Spaces アプリケーションには、キャプティブポータル、ロケーションペルソナ、エンゲージメントなどのカスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、物理的な場所にいる

顧客とリアルタイムでつながることができます。追加のアプリケーションには、アセットトラッキングアプリ、IoT サービス（Bluetooth Low Energy（BLE））を管理および設定するためのサービスマネージャ、およびこのデータを抽出して関連付けるか、他のエンタープライズシステムに統合する場合のオープン API フレームワークも含まれます。

Cisco Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーやインテリジェンスを通じて各種のサービスを利用できる単一のダッシュボードインターフェイスを備えています。Cisco Spaces では、お客様の物理的なビジネスロケーションへの訪問者をつなぎ、関係を深めることもできます。ワークスペース、小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、お客様施設内の資産を監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco Spaces には、これらの知見をアクションに変えるためのさまざまなツールキット、アプリ、および API が用意されています。

Cisco Spaces では、パートナープログラムを通じて、さまざまな業種にわたるさまざまなパートナーアプリケーションにアクセスできます。

Cisco Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

上記のサービスに加えて、Cisco Spaces アプリの範囲は、世界的なパンデミックである COVID-19 によって生じるビジネス要件を満たすために拡張されました。拡張機能は既存のアプリケーションに基づいて構築されており、COVID-19 の特定の要件を満たすために新しいアプリケーションが追加されています。Impact Analytics、Location Analytics、Behaviour Metrics、Right Now などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネス拠点に及ぼす COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、現在の場所のデバイス密度に基づいてルールを作成し、その場所にいる人の数が特定の数または密度（人/エリア）を超えた場合に自動的に通知されるようにすることができます。Location Analytics アプリには、エグゼクティブサマリーレポートを組織内の同僚と共有する機能が追加されました。さらに、個人/グループの場所を対象とした COVID-19 ベースの傾向分析を行動メトリクスアプリを使用して実行できるようになり、特定のビジネス拠点を組織全体および特定の業種のビジネス拠点と比較できます。

Cisco Spaces の Proximity Reporting アプリでは、影響を受けるデバイスの位置履歴やデバイス近接履歴をすばやく確認できます。ユーザー ID または MAC アドレスを入力するだけで、過去 14 日間の建物内のデバイスの位置と、他のデバイスの近接性に関するレポートが生成されます。このレポートは、共有機能を使用してエクスポートまたは共有できます。同様に、検出と位置特定アプリには、デバイスを特定の数にクラスタ化して、ソーシャルディスタンスのガイドラインに違反している可能性のある領域を確認して報告する機能が追加されました。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- 新しいアプリ **IOT Device Marketplace** では、業界やユースケースに合わせて調整されたデバイスについて学習し、注文できます。
- [Density Rule] レポートを表示するように **Right Now** アプリを機能強化しました。
- SEE ライセンスを持つアカウントのパートナーアプリのアクティベーションを制限しました。
- **Location Analytics** アプリのロールベースのアクセスを追加しました。

- Camera Metrics のサンプルレポートを表示できるようにプロビジョニングしました。

新機能：2020年9月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

IOT デバイスマーケットプレイス

Cisco Spaces ダッシュボードで、新しいアプリ IOT Device Marketplace を利用できるようになりました。このアプリは、ACT ライセンスユーザーのみが利用できます。SEE および EXTEND アカウントの場合、[IOT Device Marketplace] タイルは無効モードで表示されます。

IOT Device Marketplace アプリを使用すると、業界やユースケースに合致したデバイスを調べて、注文することができます。

ホームページで [IOT Device Marketplace] タイルをクリックすると、デバイスを注文できる [IOT Device Marketplace (IDM)] Web サイトにリダイレクトされます。

[IOT Device Marketplace (IDM)] Web サイトのログインページでは、Cisco Spaces アカウントまたは Linked In アカウントを使用してログインできます。[Sign In with Cisco Spaces] オプションを使用してログインしている場合は、ログイン情報と顧客名をもう一度入力する必要があります。業界とユースケースを選択し、選択したユースケースで利用可能な IoT デバイスを表示できます。その後、デバイスの詳細を表示し、見積をリクエストできます。見積リクエストが送信されると、お客様の連絡先とともに対応するベンダーにリダイレクトされ、その後の購入手続きは、お客様とベンダーの間で直接行われ、Cisco Spaces は関与しません。

密度ルールレポート

Cisco Spaces を使用して、各密度ルールの密度ルールレポートを表示できます。[Right Now] アプリでは、[Density Rule] ウィンドウで密度ルール名をクリックすると、そのルールのレポートが表示されます。

[Density Rule] レポートには、次の詳細が含まれます。

- [Rule Summary]：特定のルールについて通知がトリガーされた合計回数と、通知の数が最も多い上位3つの場所を表示します。
- [Recent Activity]：特定のルールで発生したすべてのアクティビティを、場所、時間、人数、結果などの詳細とともに一覧表示します。最近のアクティビティは上に表示されます。
- [Trigger History]：特定の暦月の各日における通知の詳細を表示します。デフォルトでは、通知が最近トリガーされた月と累積通知数が表示されます。各日のさまざまなロケーションタイプ（キャンパス、ビルディング、フロア、ゾーン）に関する通知がカレンダーに表

示されます。カレンダーの日付をクリックすると、その日のロケーション、時間、人数、結果といった通知の詳細が表示されます。

機能強化：2020年9月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

パートナーアプリを取得

[Get Partner Apps] では、SEE ライセンスアカウントに対してアプリのアクティベーションが制限されるようになりました。ただし、これらのアカウントユーザーは App Center でアプリを表示できます。SEE ライセンス アカウント ユーザーがアプリの [Activate App] をクリックすると、エラーメッセージ「ライセンスにはアプリのアクティベーションへのアクセス権がありません」が表示されます。以前は、すべてのライセンスタイプでアプリのアクティベーションが有効になっていました。

RBAC : Location Analytics

Location Analytics アプリでは、ロールベースのアクセスが実装され、ユーザーへのアクセスを制限できるようになりました。[Dashboard Admin] ロールの場合、**Location Analytics** へのアクセスはデフォルトで提供されます。その他のロールについては、[Admin Management] オプションを使用して個別にアクセスを割り当てる必要があります。ただし、Location Analytics のロールへの割り当ては、DNASpaces サービスの割り当てと同時に行う必要があります。たとえば、Location Analytics への読み取りおよび書き込みアクセスと、DNASpaces への読み取り専用アクセスを持つロールを作成できます。[Location Analytics] タイルは、Location Analytics へのアクセス権のない Cisco Spaces ユーザーアカウントでは無効になります。



(注) [Dashboard Admin]、[Dashboard Read]、および [Dashboard Read & Write] の役割を持つ既存のアカウントは、以前と同様に引き続き [Location Analytics] にアクセスできます。

この拡張機能をサポートするために、新しいオプション Location Analytics が、[Admin Management] > [Roles] > [Create New Roles] の [APPS] で使用できるようになりました。

カメラメトリック

カメラメトリックについては、次の変更が加えられています。

- まだ Meraki カメラを設定していないか、Meraki カメラのデータがない Cisco Spaces ユーザーアカウントの場合、サンプルレポートが表示されます。
- まだ Meraki カメラを設定していない Cisco Spaces ユーザーアカウントの場合、「Looks like you haven't setup your Meraki Camera (Meraki カメラが設定されていないようです)」とい

う通知が、Merakiカメラの設定ウィンドウに移動するための[Setup Guide]リンクとともに表示されます。

Cisco Spaces ランタイム

Cisco Spaces ランタイムに次の変更が加えられました。

エンタープライズ キャプティブ ポータルの機能強化

Cisco Spaces では、エンタープライズ キャプティブ ポータルに対して次のサポートが提供されるようになりました。

- トリガー API を使用して通知を API エンドポイントに送信するためのサポート。
- キャプティブポータルのユーザにそのアクションに基づいてタグを付けるためのサポート。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxx/NNNN というパターンで、x は任意の文字 (a ~ z)、N は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvq83680	RBAC：特定の場所しかアクセスできない管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvt29202	デフォルトでは、新しく作成されたアカウントの訪問者数と訪問数がデジタル化統計に表示される。
CSCvs79627	Meraki カメラ：ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
CSCvu46143	すでに承認された招待状を使用しようとする、適切なエラーメッセージが表示される必要がある。
CSCvt93539	訪問数が少ない場合、[Right Now -Visits by floor] セクションで、フロア名がツールチップテキストに表示されない。
CSCvv22691	非アクティブ化されたユーザーをアクティブ化すると、初回では「My Profile」情報が保存されない。

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
	このリリースで修正されたバグはありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。